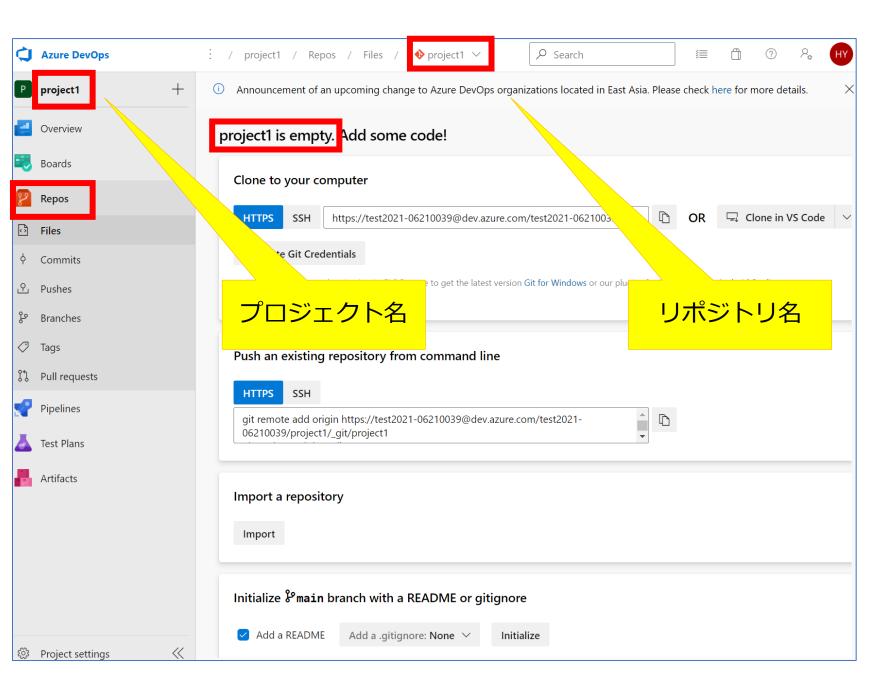
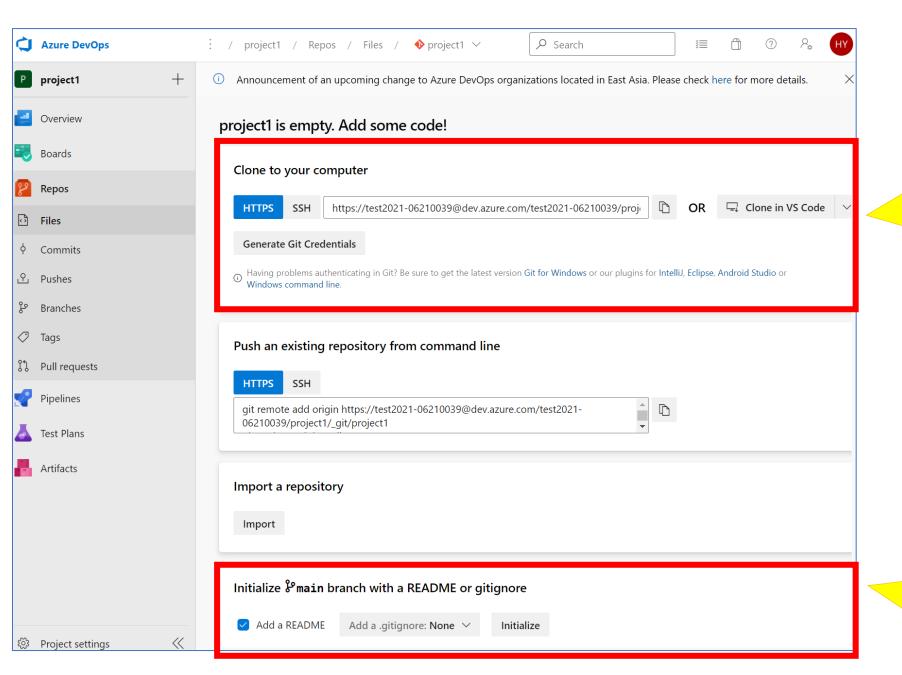
Azure Reposを使い始める

新しくコードを開発する場合と、 既存のコードをインポートする場合の 両方に対応 Azure Repos に最初にアクセスすると、プロジェクト名と同じ名前の、空のリポジトリが用意される。



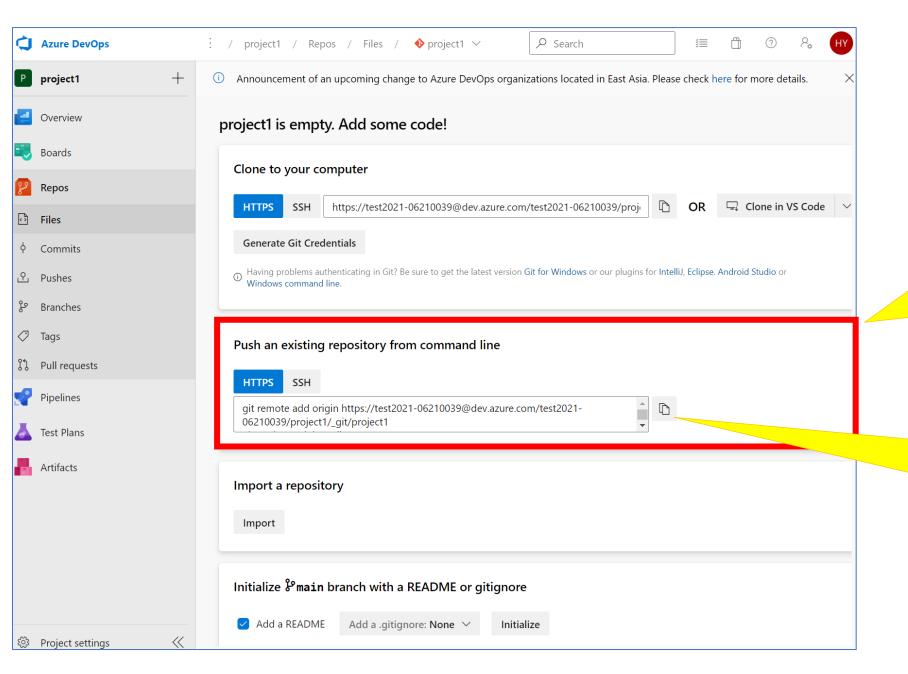
Azure Repos で、**コード管理をこれから開始**する場合



このリモートリポジトリを ローカルリポジトリに クローン(複製)して ローカルで開発を始める

> READMEファイルや .gitignoreファイルを 作成する

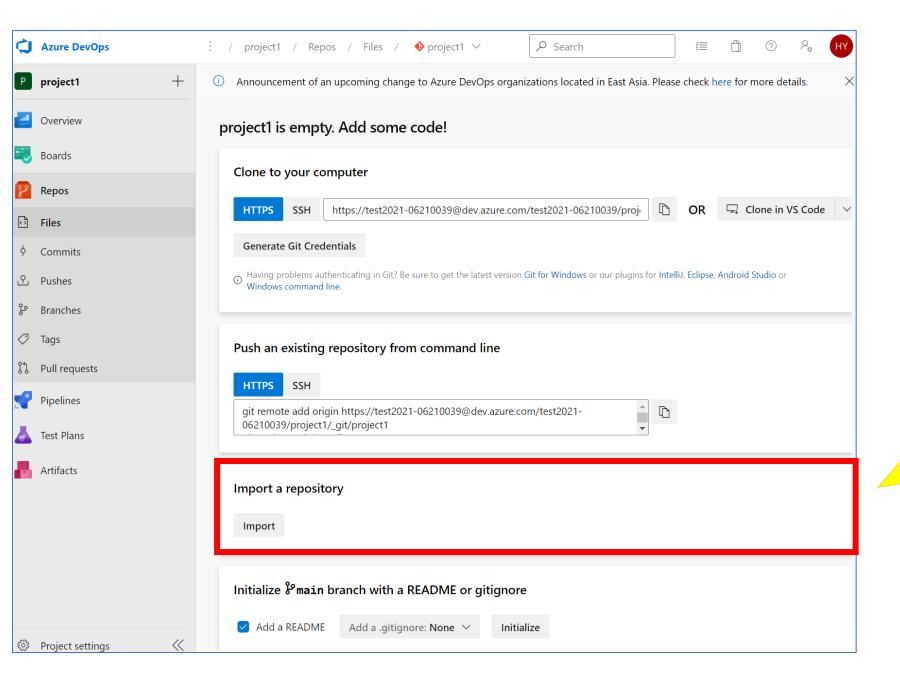
Azure Repos に、既に存在するローカルのGitリポジトリをプッシュする場合



既に存在する ローカルリポジトリを ここにプッシュする

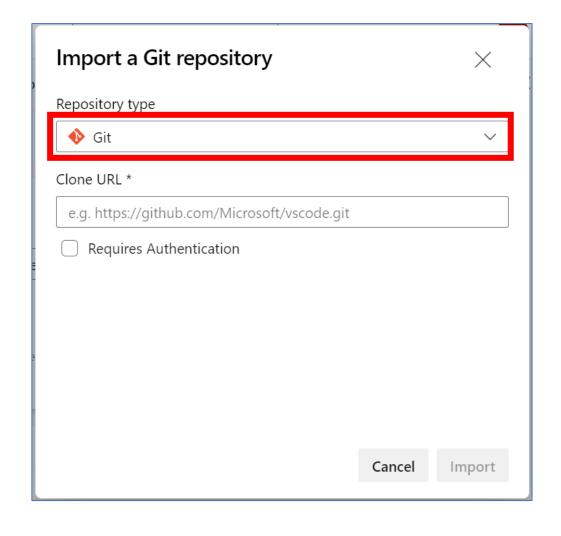
このコマンドをコピーして ローカルで実行する

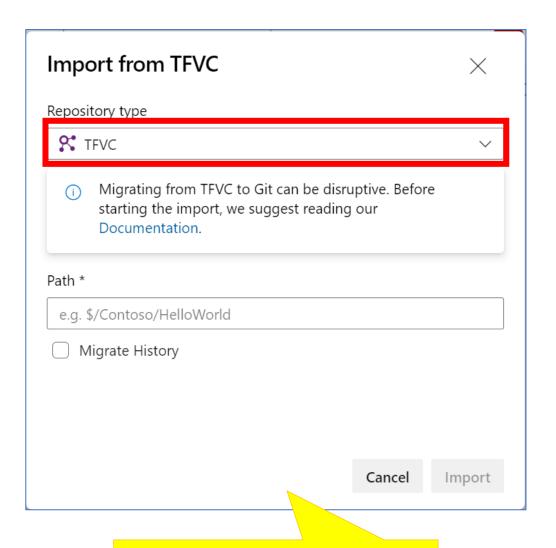
Azure Reposに、既に存在する外部のリポジトリからインポートを行う場合



TFVC(Team Foundation Version Control)または GitHubのような 外部リポジトリから インポート

Azure Reposに、既に存在する外部のリポジトリからインポートを行う場合





TFVCインポートツール

TFVC(Team Foundation Version Control)からのインポート方法は2種類。

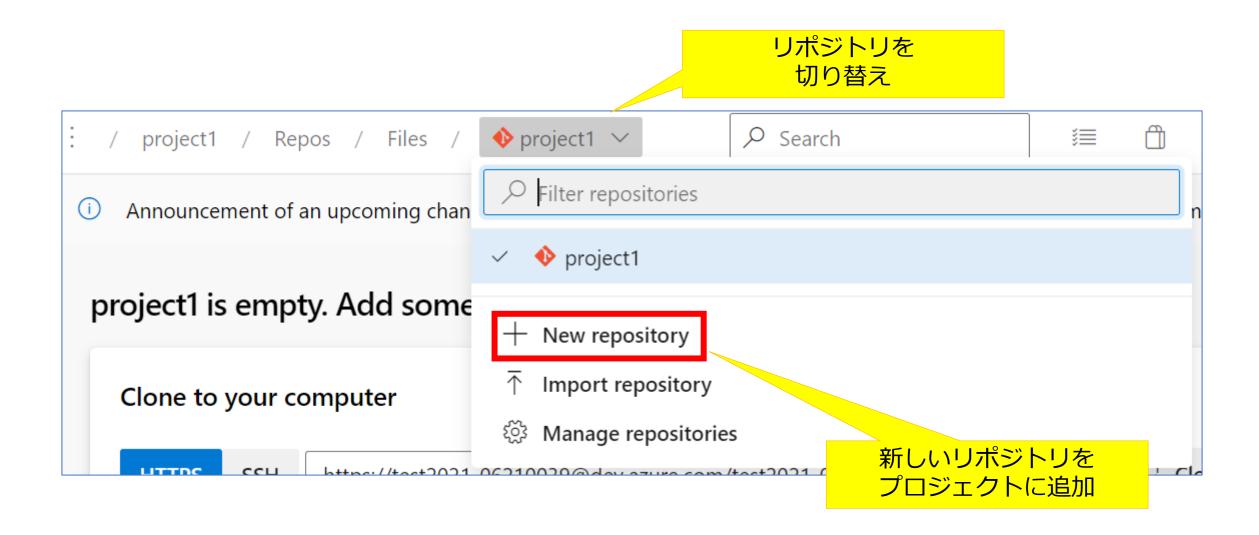
- TFVCインポートツール
 - Reposの画面で「import a repository」を選択
 - ・制限事項がある
 - ルートまたは特定のブランチのみインポート可能
 - ・サイズは1GBまで
 - 最大180日間の履歴をインポート可能

- Git-TFSツール
 - git-tfs/git-tfs: A Git/TFS bridge, similar to git-svn (github.com)
 - ・コマンドラインツール
 - ローカルPCやVMにこのツールをインストールし、実行する
 - ・上記の制限事項がない

リポジトリを追加する

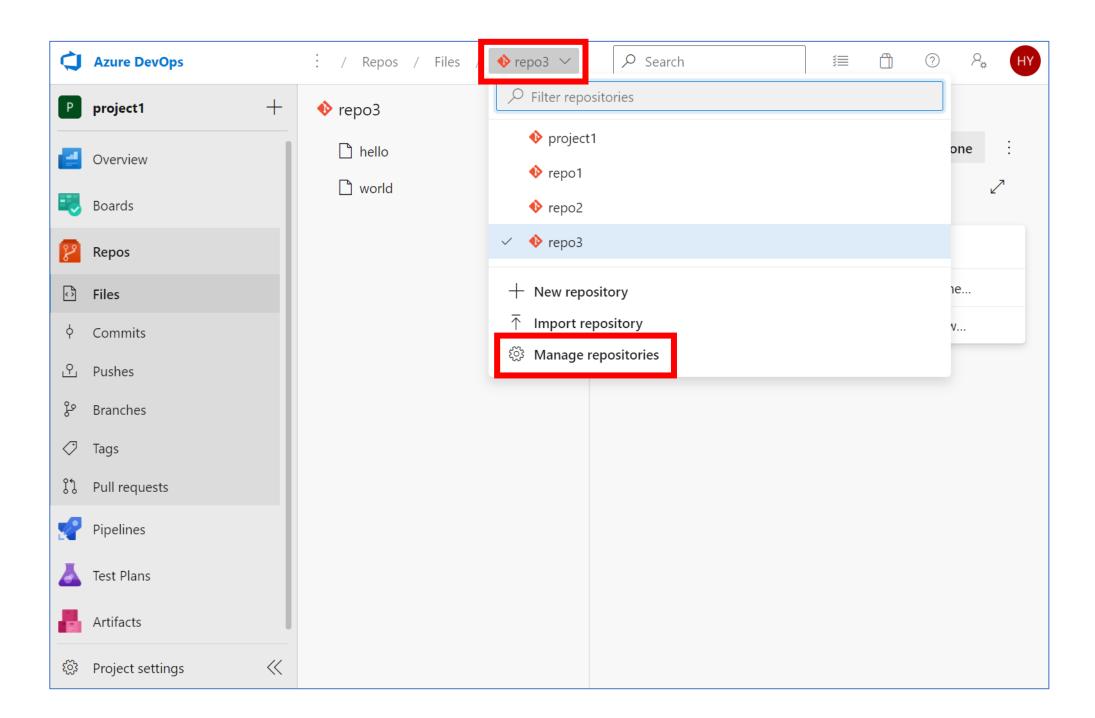
プロジェクト以下に複数のリポジトリをつくることができる

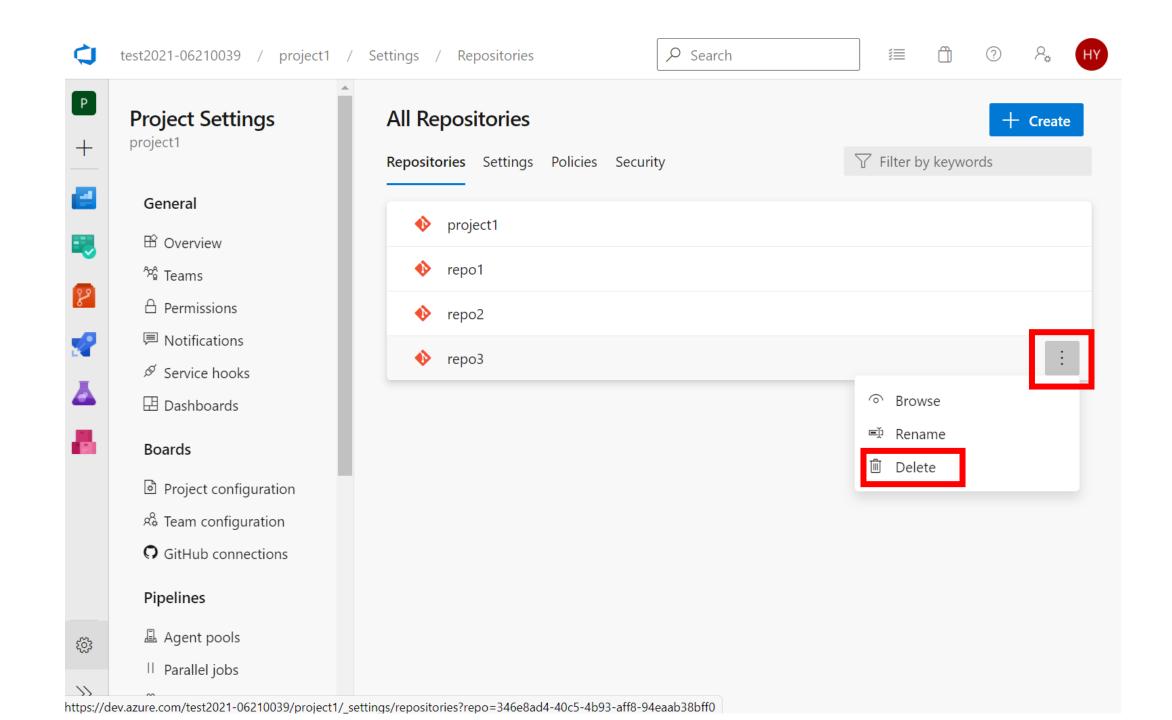
1つのプロジェクト内に複数のリポジトリを作ることもできる



リポジトリの削除

不要なリポジトリを削除することができる ただし、プロジェクトには最低1つリポジトリが必要

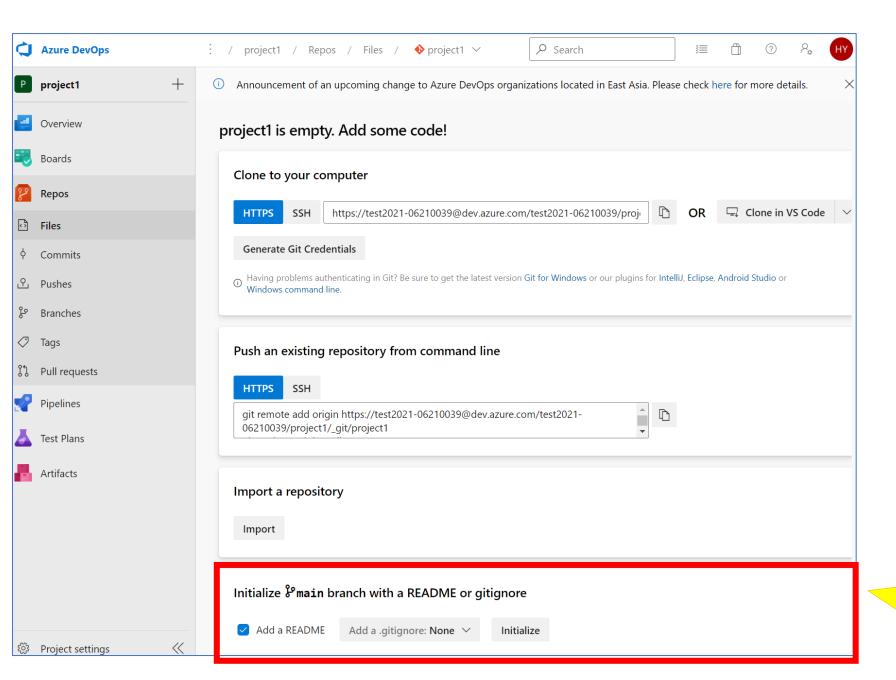




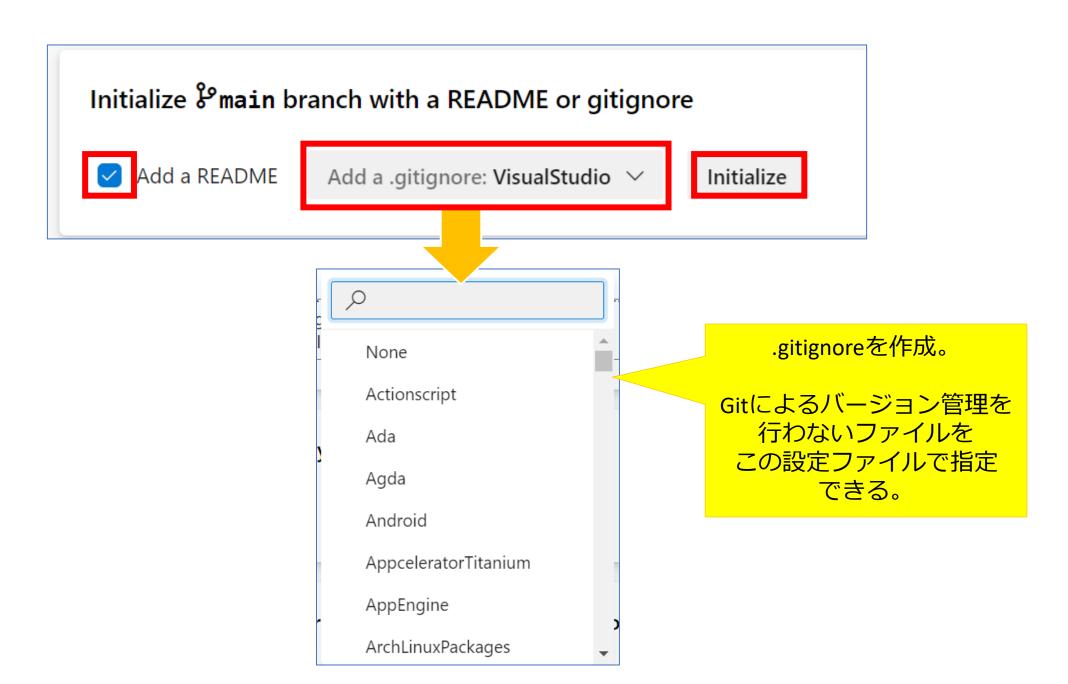
リポジトリの初期化

READMEファイルと.gitignoreファイルの追加

Azure Repos で、**コード管理をこれから開始**する場合



リポジトリに README.mdファイルや .gitignoreファイルを配置 「README.md」ファイルを追加、「.gitignore」ファイルの種類を選択。



生成された README.md ファイル

```
1 # Introduction
 2 TODO: Give a short introduction of your project. Let this section explain the
4 # Getting Started
 5 TODO: Guide users through getting your code up and running on their own syste

    Installation process

 7 2. Software dependencies
8 3. Latest releases
 9 4. API references
10
11 # Build and Test
12 TODO: Describe and show how to build your code and run the tests.
13
   # Contribute
15 TODO: Explain how other users and developers can contribute to make your code
16
   If you want to learn more about creating good readme files then refer the fol
18 - [ASP.NET Core](https://github.com/aspnet/Home)
19 - [Visual Studio Code](https://github.com/Microsoft/vscode)
20 - [Chakra Core](https://github.com/Microsoft/ChakraCore)
```

プロジェクトの説明、 開始方法、 ビルド・テスト方法、 開発への貢献方法などの テンプレート

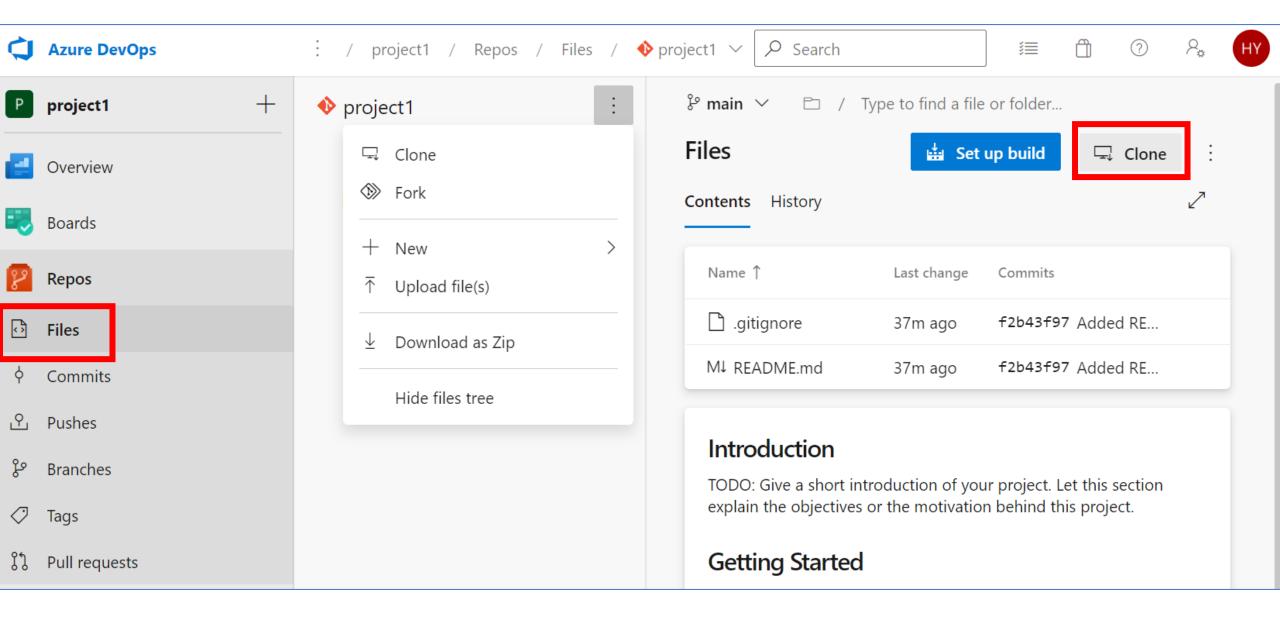
生成された。gitignore ファイル(テンプレートでVisualStudioを選択した場合の例)

```
1 ## Ignore Visual Studio temporary files, build results, and
 2 ## files generated by popular Visual Studio add-ons.
  ## Get latest from https://github.com/github/gitignore/blob/master/VisualStuc
  # User-specific files
   *.rsuser
                                                 ユーザー固有の
   *.suo
                                                 設定ファイル類
   *.user
   *.userosscache
   *.sln.docstates
# User-specific files (MonoDevelop/Xamarin Studio)
14 *.userprefs
15
16 # Mono auto generated files
17 mono crash.*
19 # Build results
20 [Dd]ebug/
                                              ビルドで生成される
21 [Dd]ebugPublic/
22 [Rr]elease/
                                              ファイル/フォルダー
23 [Rr]eleases/
24 x64/
25 x86/
26 [Ww][Ii][Nn]32/
27 [Aa][Rr][Mm]/
28 [Aa][Rr][Mm]64/
29 bld/
30 [Bb]in/
31 [0o]bj/
32 [L1]og/
33 [L1]ogs/
```

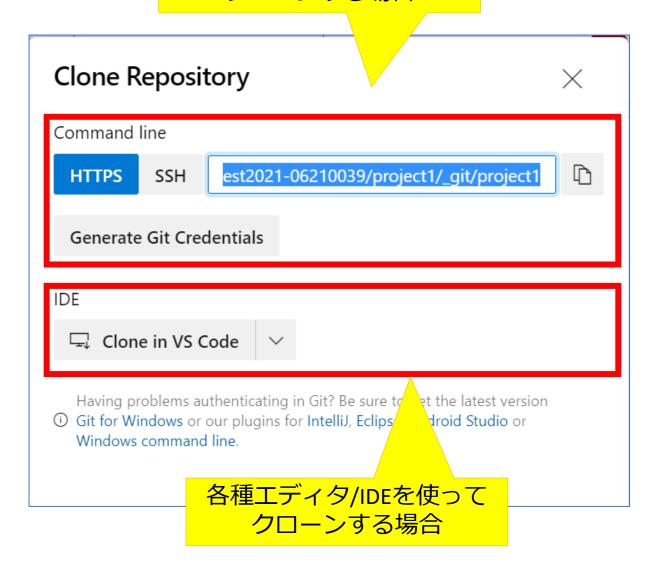
初期化後のクローン

Azure Reposで「初期化」したプロジェクトを ローカルリポジトリにクローンすることができる

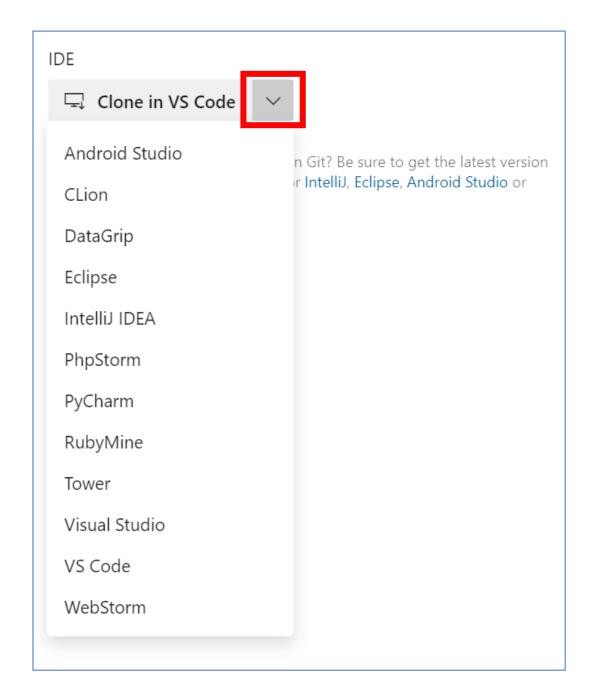
クローンの操作



gitコマンドを使って クローンする場合



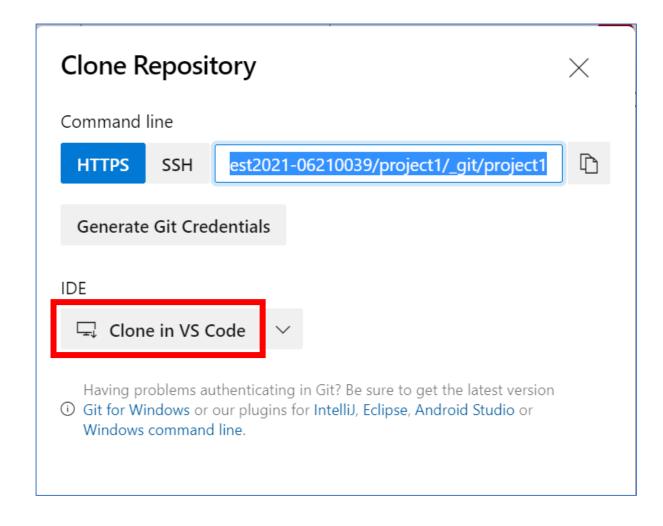
多数のエディタ/IDEによるクローンに対応



Visual Studio Codeによる クローン

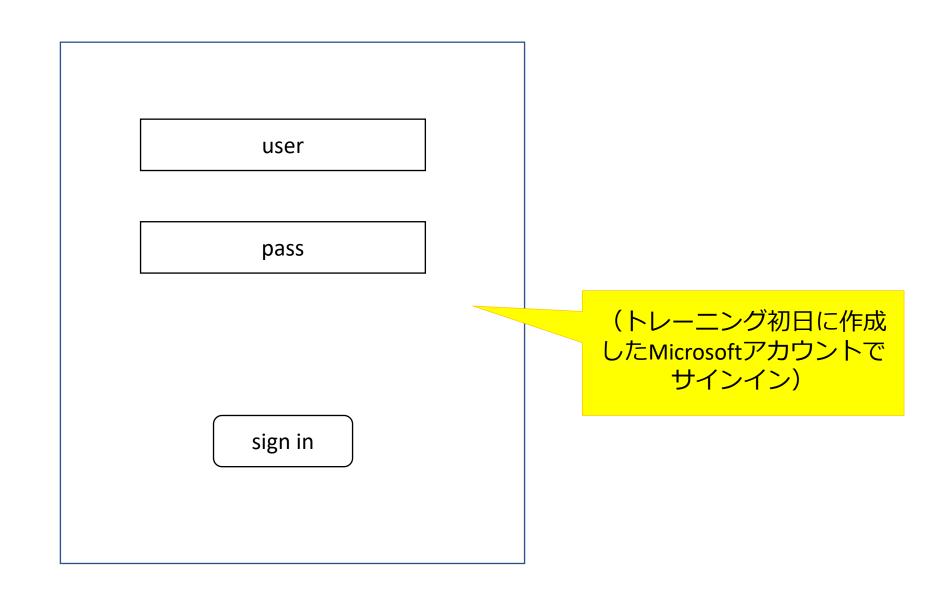
- ローカルリポジトリヘクローンして
- コードの編集を開始する

VS Codeによるクローンの例

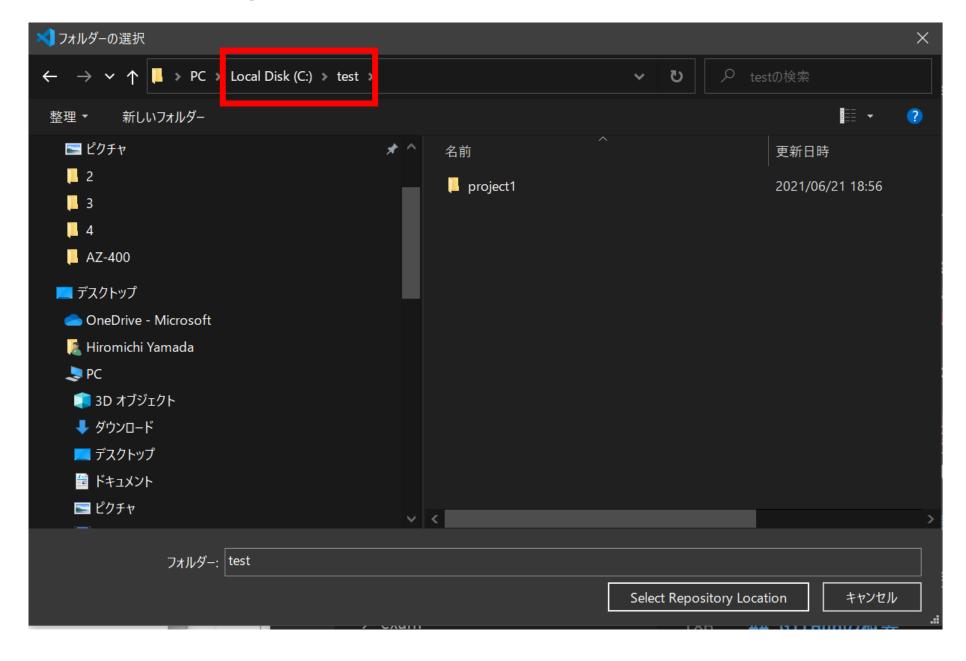


VS Codeによるクローンの例

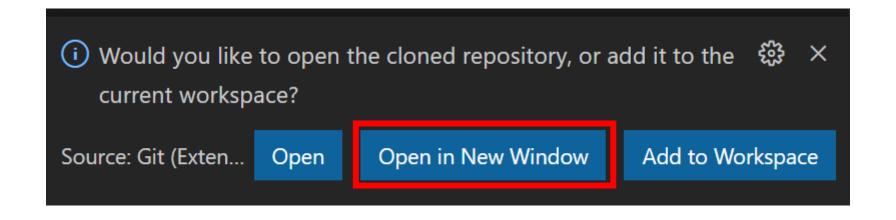




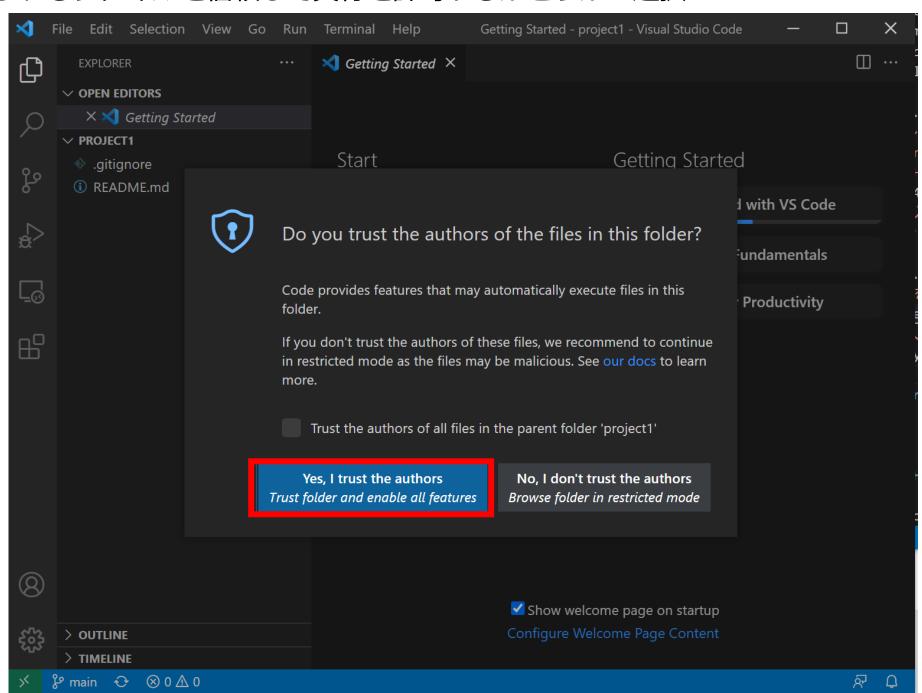
ローカルリポジトリのフォルダを指定



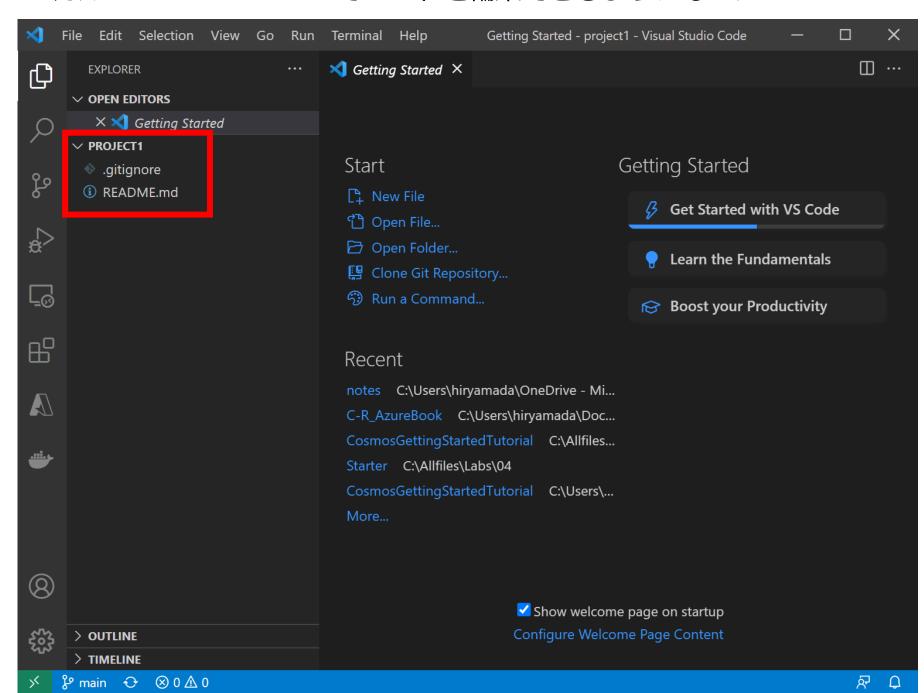
すでにVisual Studio Codeが起動している場合は、 リポジトリをどのようにオープンするかの選択が表示される。



リポジトリに含まれるファイルを信頼して実行を許可するかどうかの選択



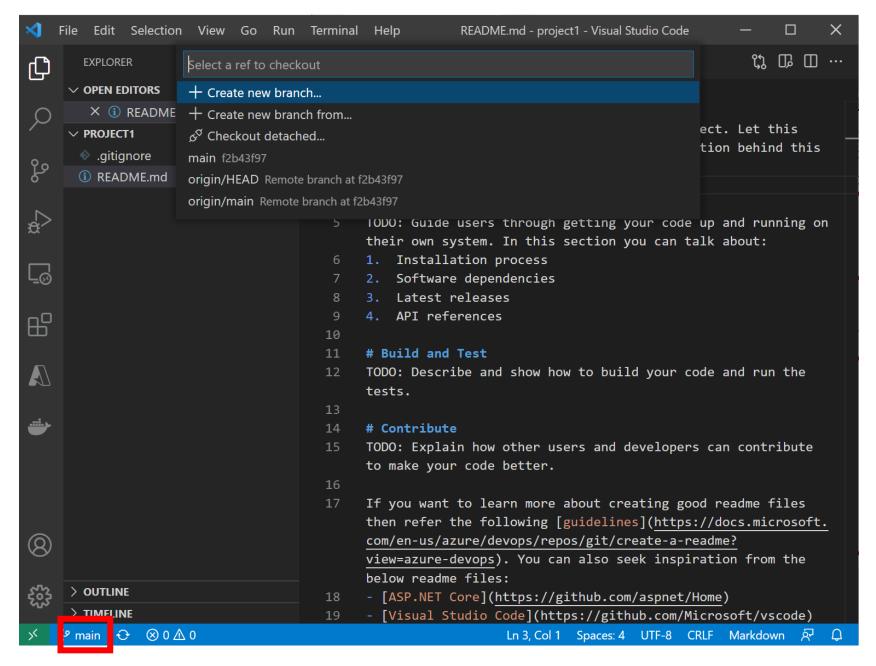
クローン完了! ローカルのVisual Studio Codeでコードを編集できるようになった



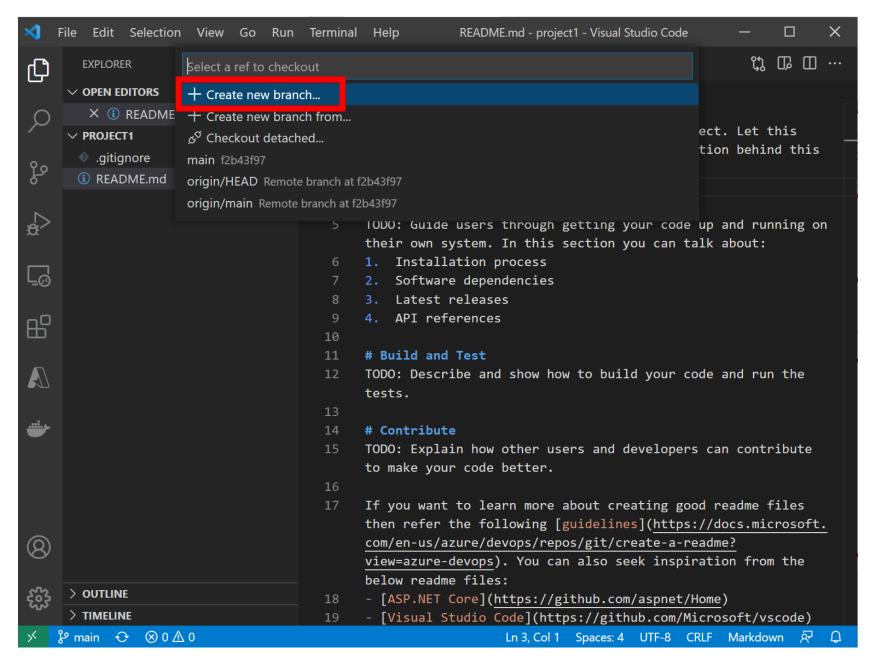
Visual Studio Code での ブランチの作成

プルリクエストの作成にはブランチが必要

画面左下「main」(ブランチ名)をクリック



+ Create new branch... をクリック



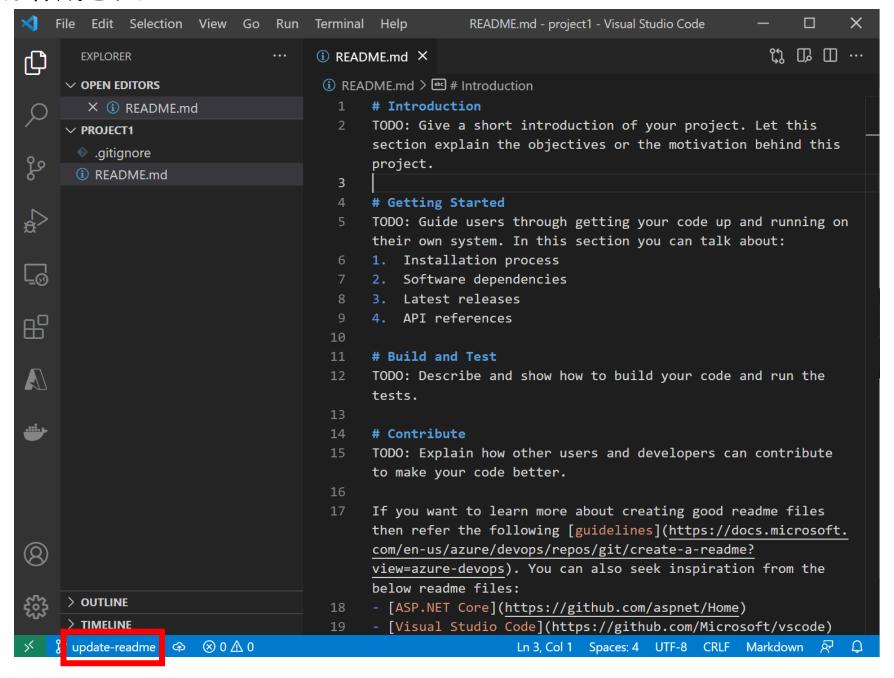
新しいブランチの名前を入力

update-readme

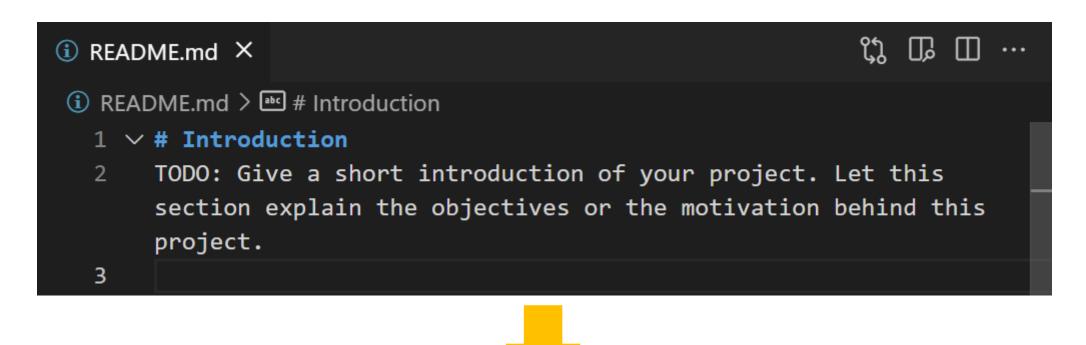
Please provide a new branch name (Press 'Enter' to confirm or 'Escape' to cancel)

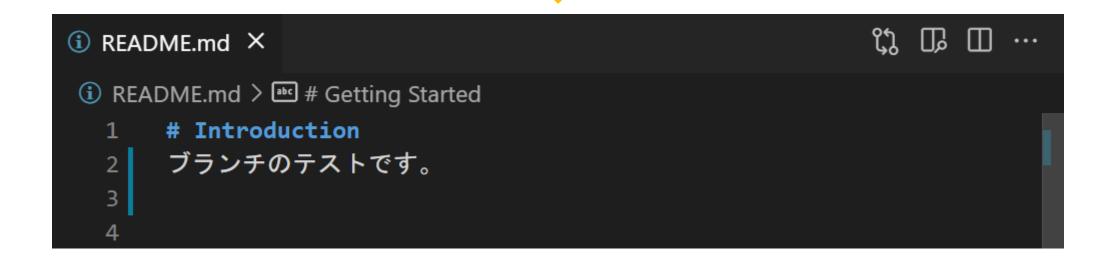
Introduction

新しいブランチが作成された

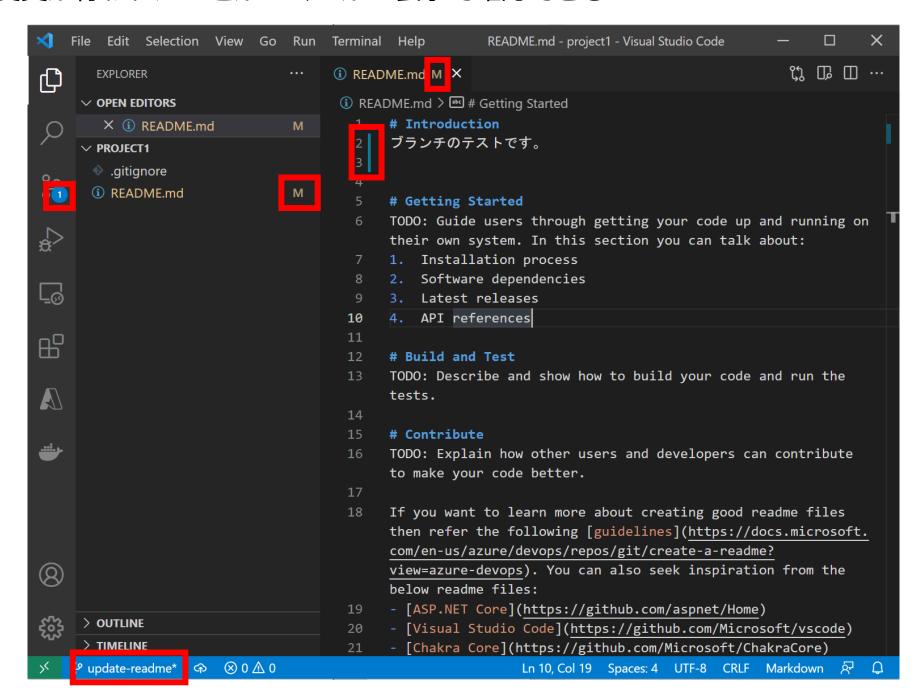


ファイルを編集して保存

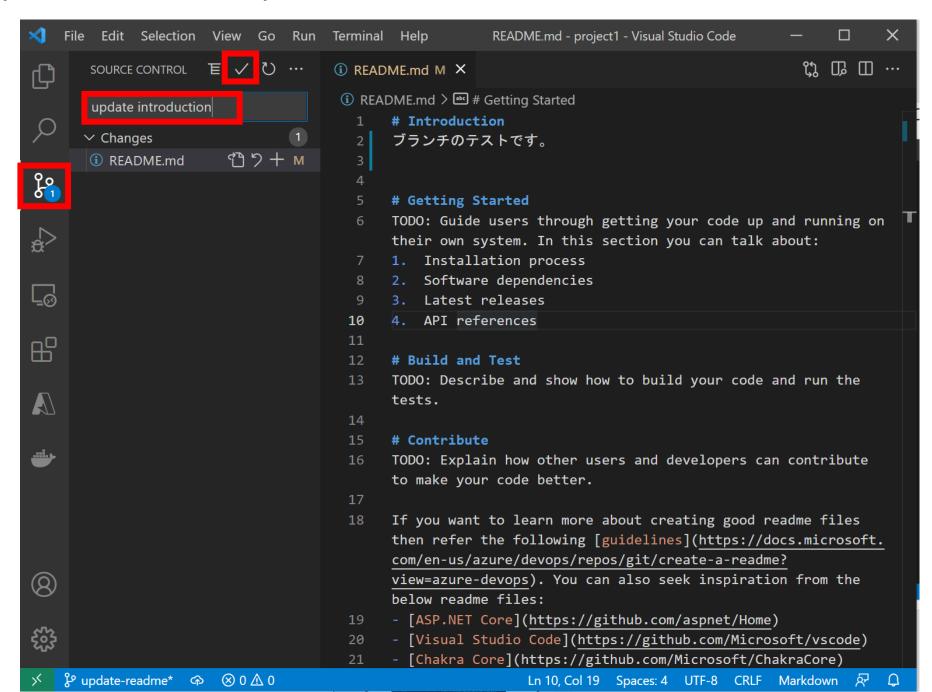




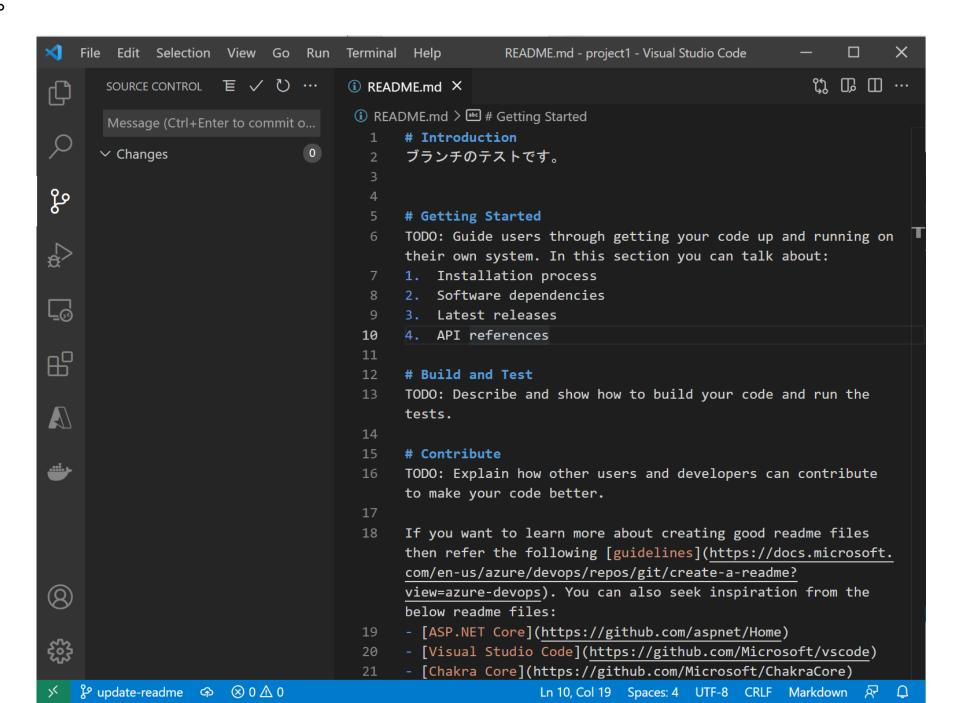
ブランチに変更が行われたことがいくつかの表示で確認できる



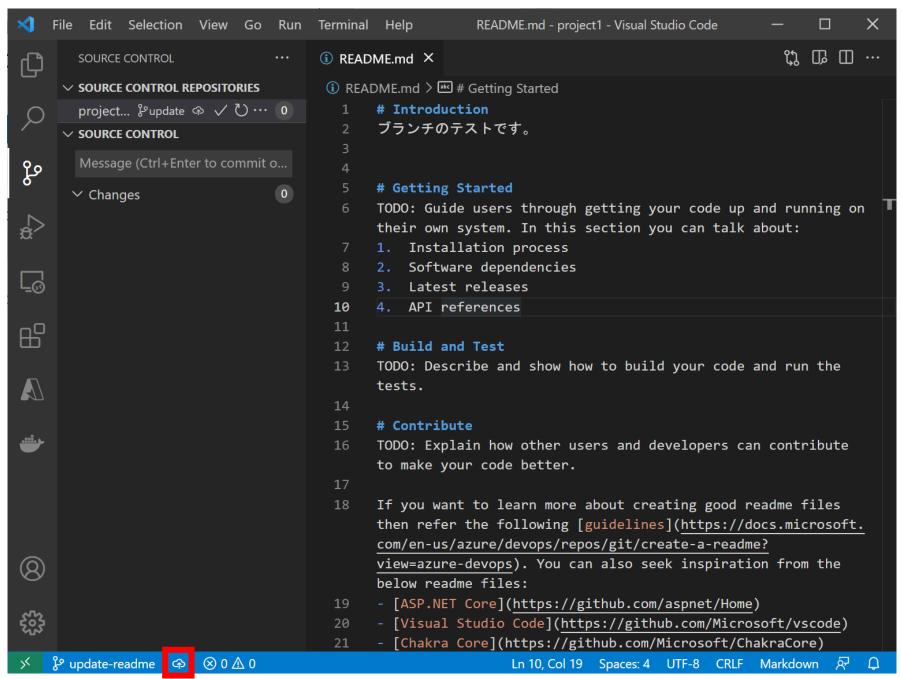
Source Control (上から3つ目のボタン)をクリックし、コミットメッセージを入力してコミット。



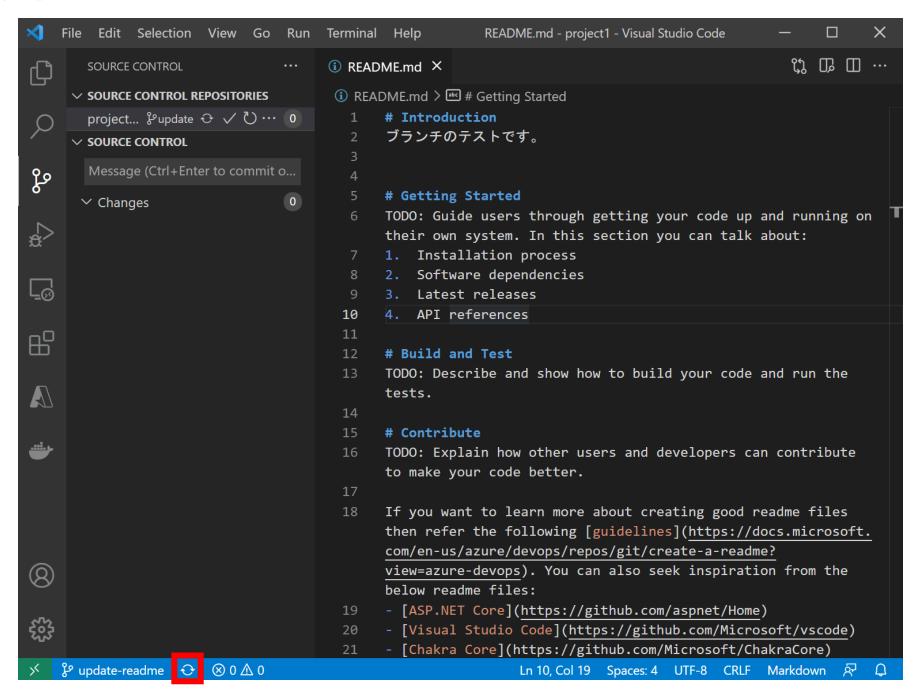
コミット完了。



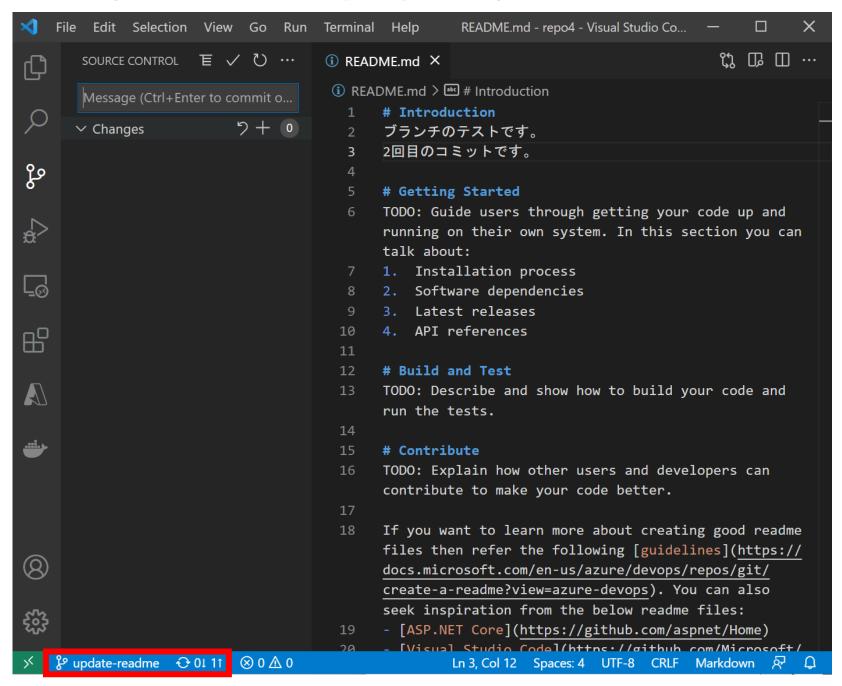
雲のアイコン(Publish Changes)をクリック



パブリッシュが完了



2回目以降のコミットの場合は、アイコン表示と呼び方が変わる。



1回目のコミットの送信:「パブリッシュ」(雲アイコン) このブランチのupstreamがない状態。 git push -u origin HEAD に相当。



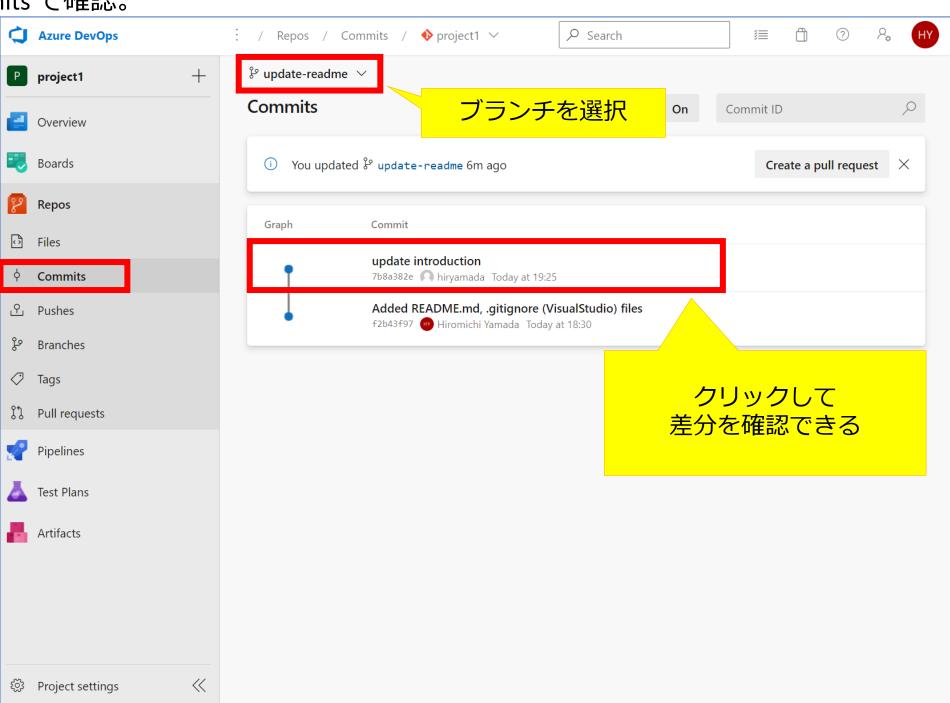
2回目以降のコミット:「プッシュ」(上向き矢印とコミットの数) このブランチのupstreamがある状態。 git push に相当。



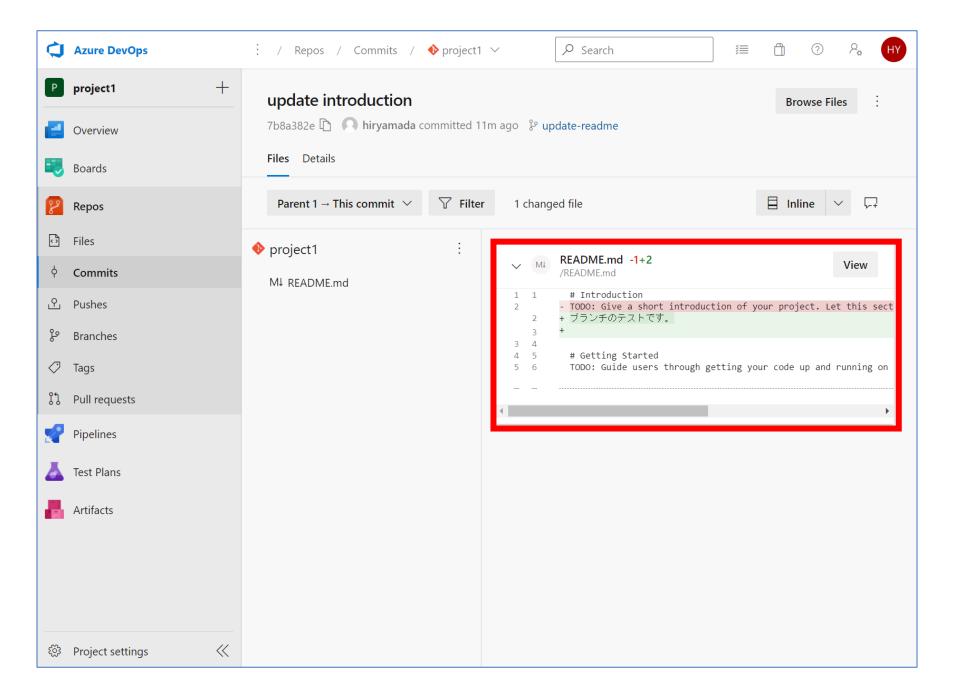
コミットの履歴

コミットの履歴を一覧表示

Repos の Commits で確認。



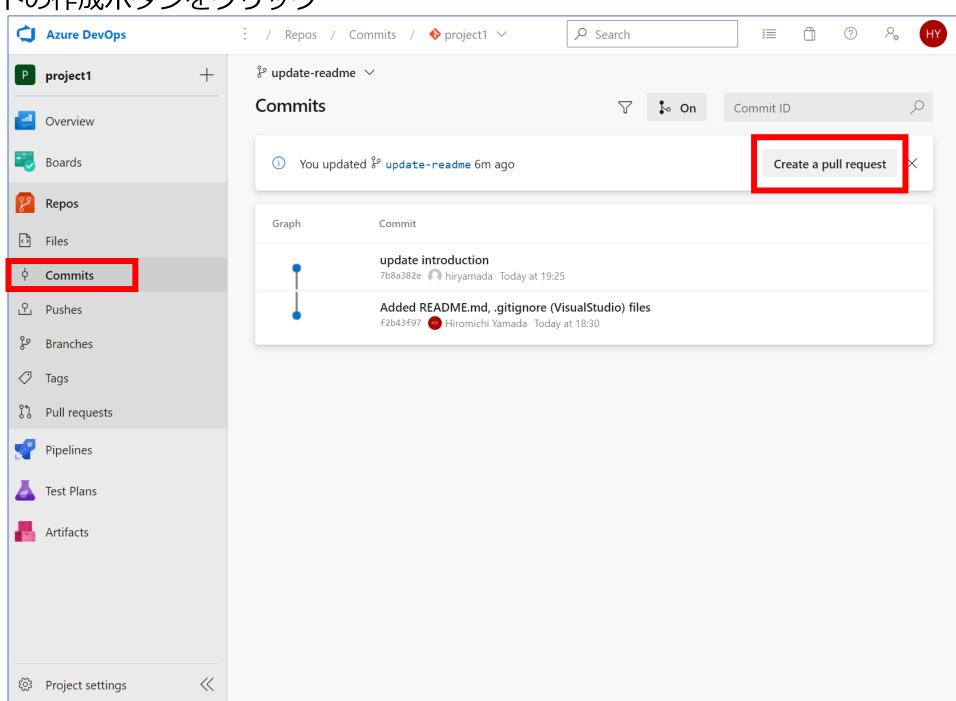
Repos の Commits > 差分の表示



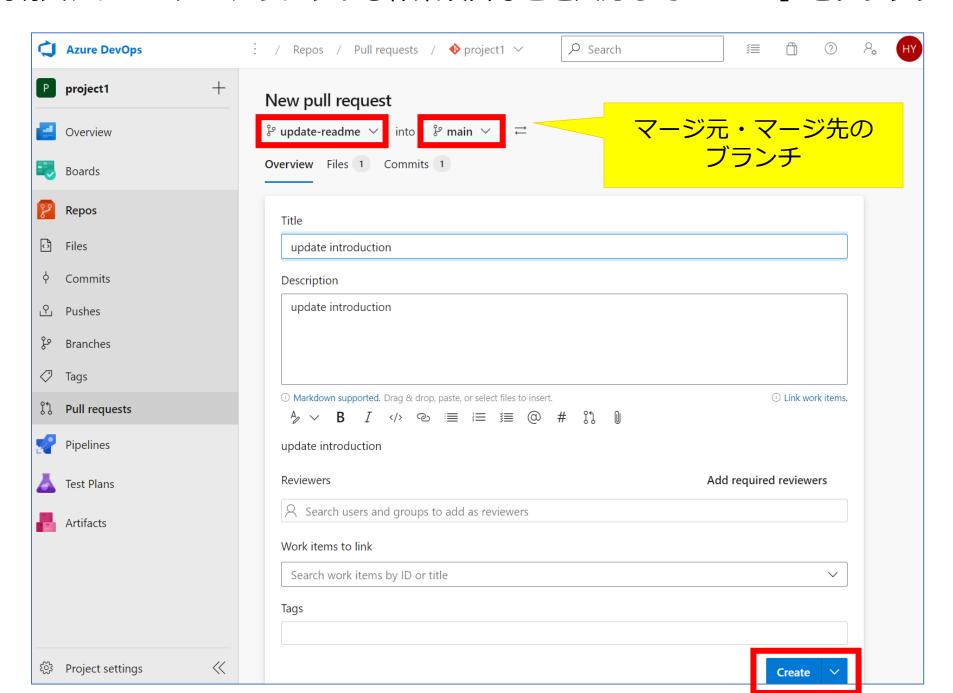
プルリクエストの作成

あるブランチを mainブランチ などにマージすることを依頼する

プルリクエストの作成ボタンをクリック



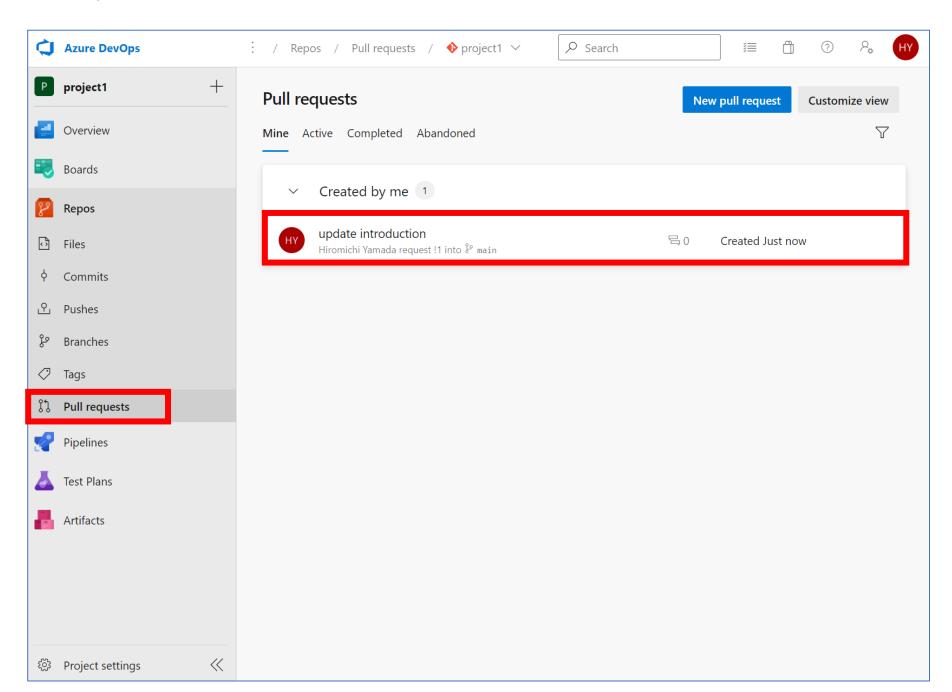
タイトル、説明文、レビュアー、リンクする作業項目などを入力して「Create」をクリック

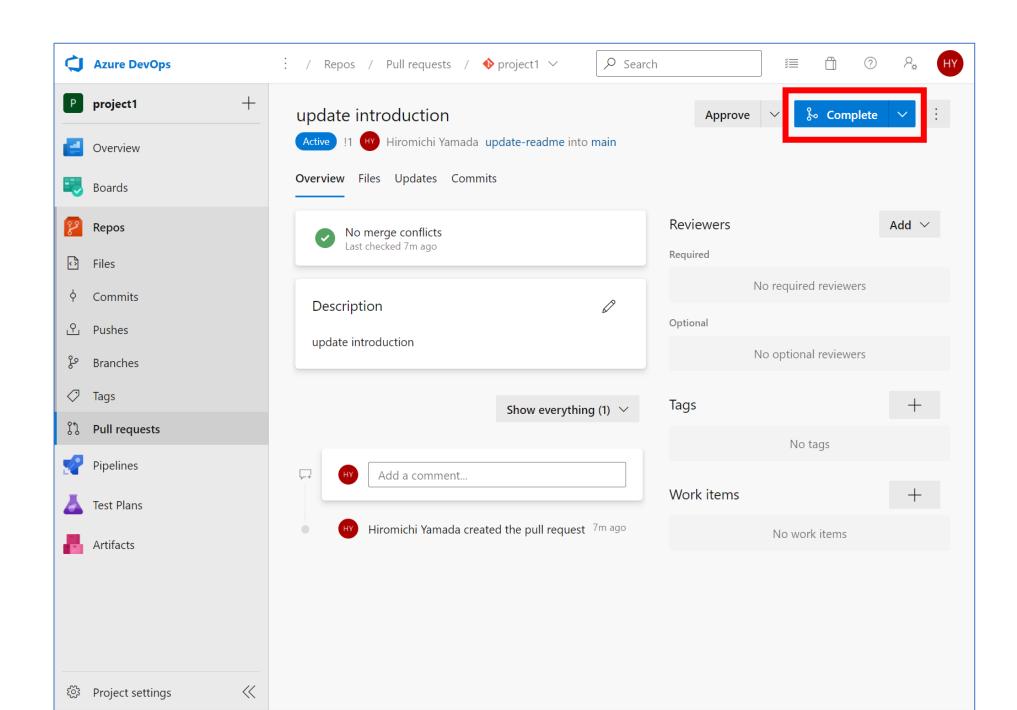


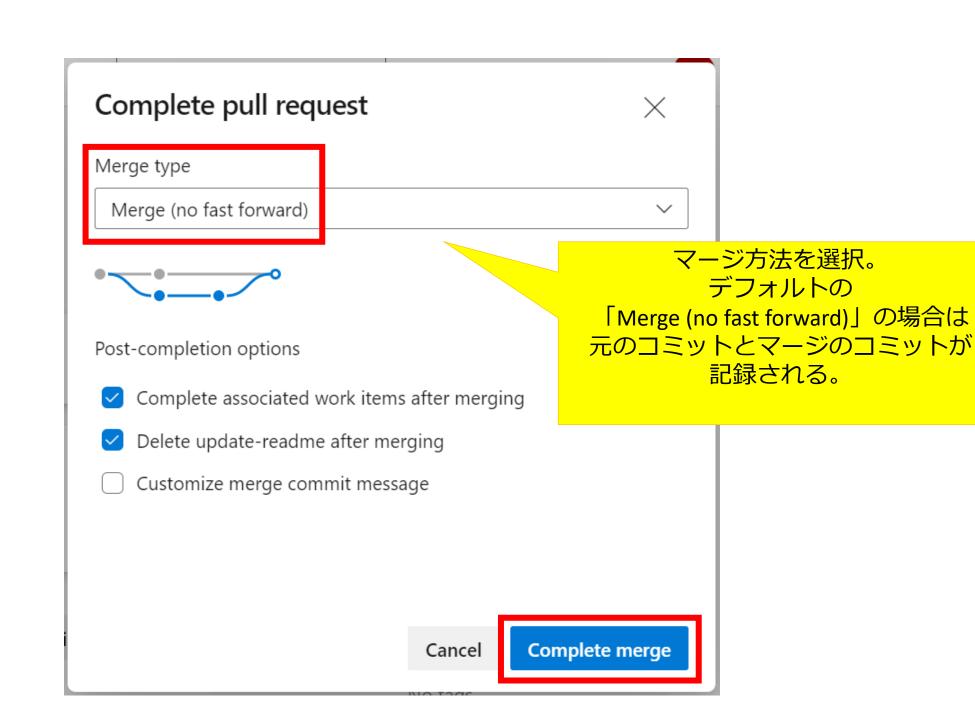
プルリクエストのマージ

プルリクエストを受け入れてマージする

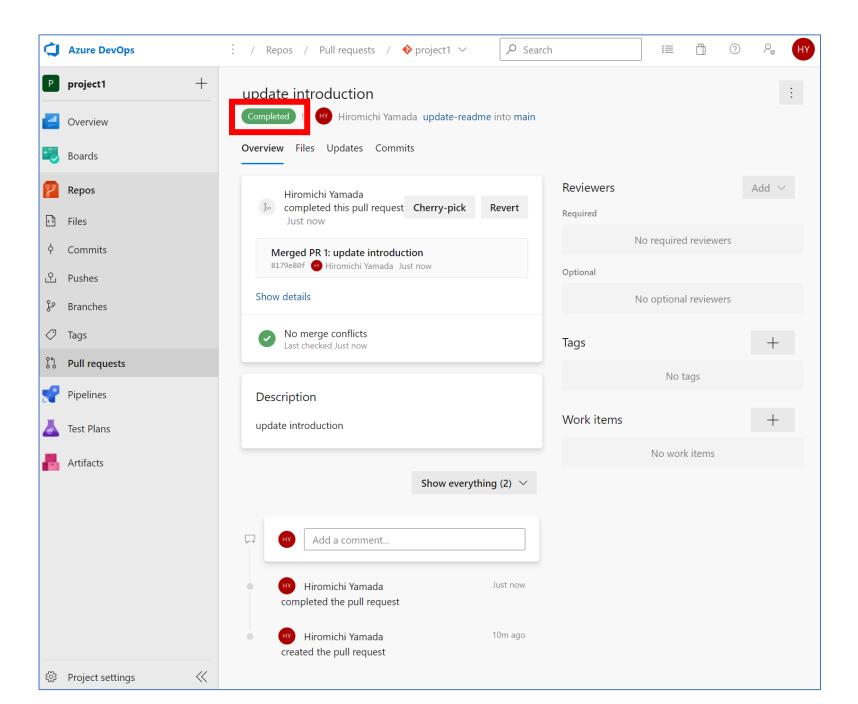
プルリクエストの確認



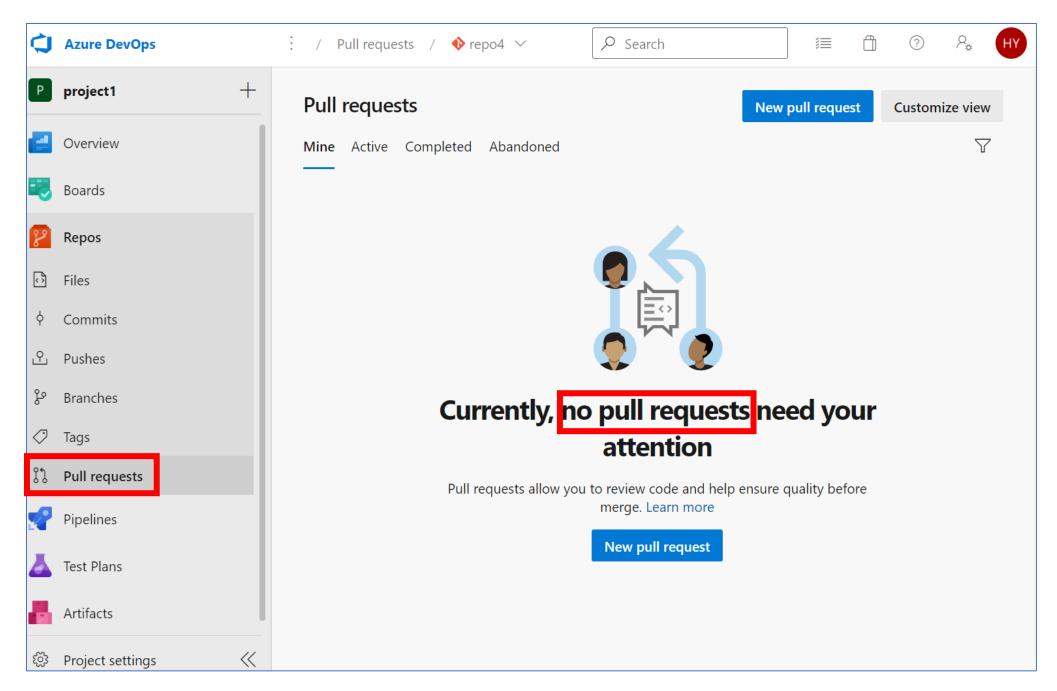




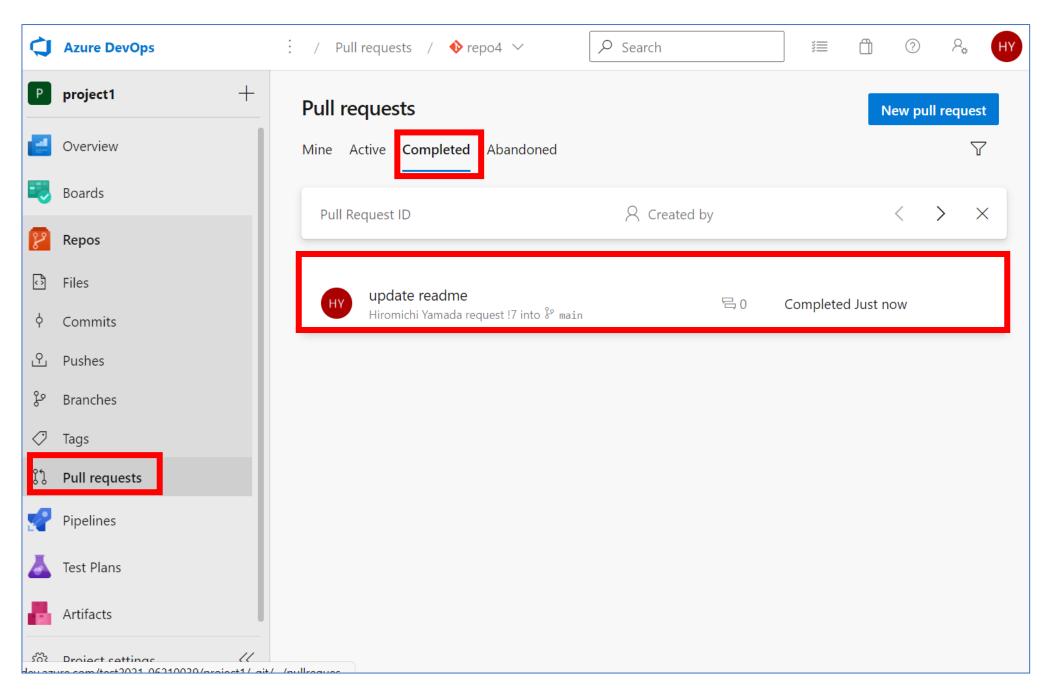
マージ完了!



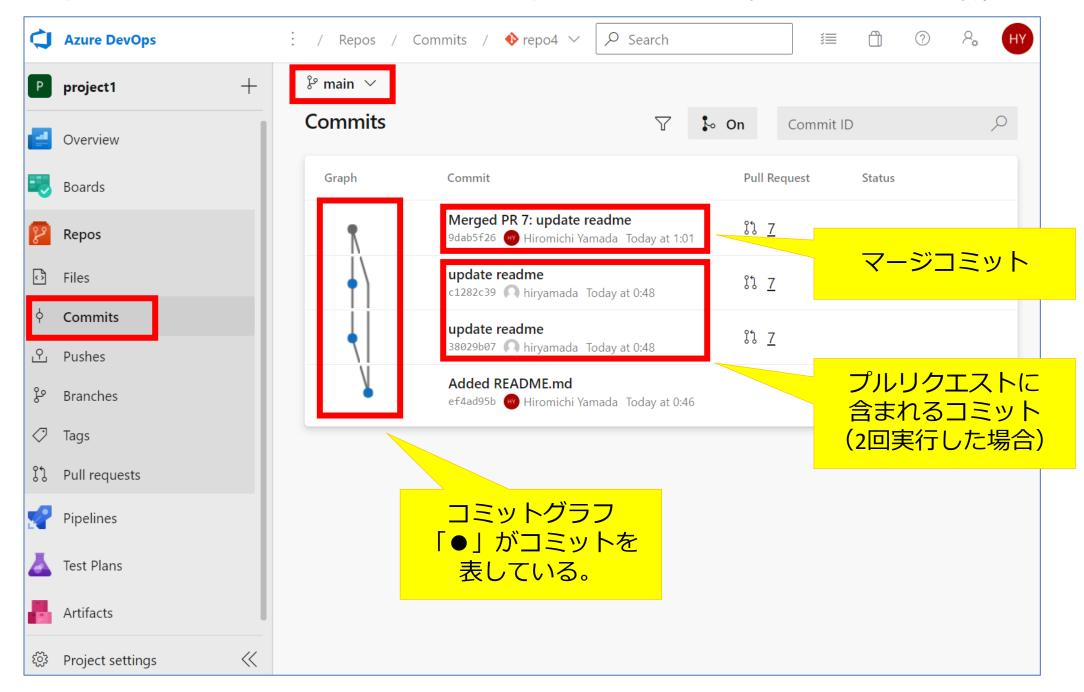
プルリクエストが完了すると、そのプルリクエストは一覧に出なくなる。



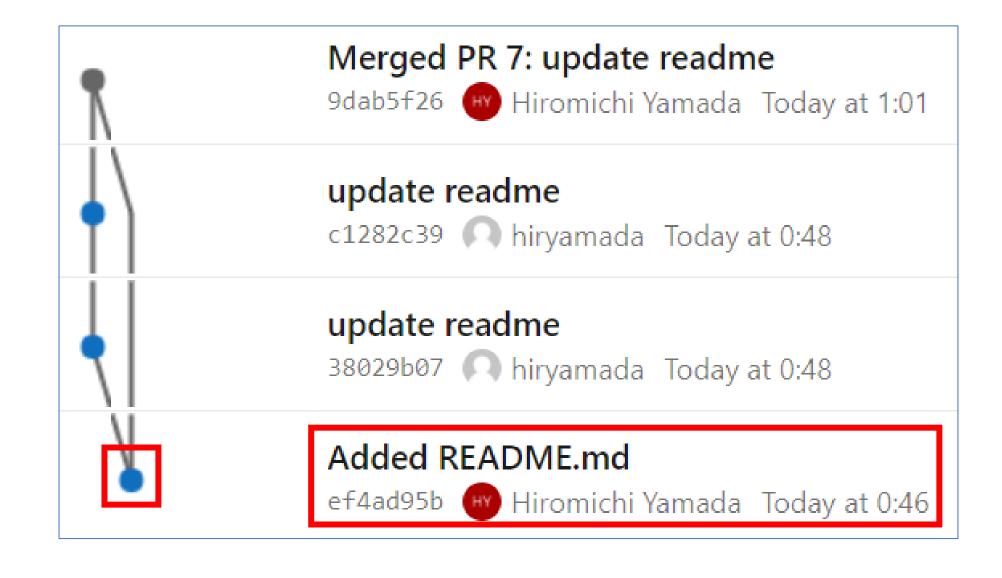
「Completed」をクリックすると、完了(マージ済みの)プルリクエストを表示できる。



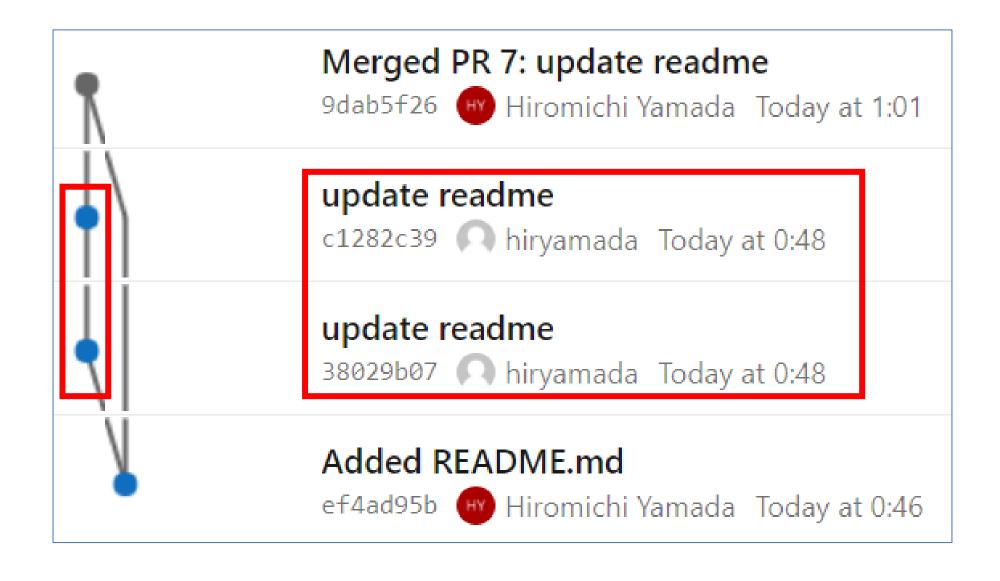
Commits を表示して、マージ先の main ブランチを表示して、マージを確認できる。上が最新。



最初に、README.mdを追加して、リポジトリの「初期化」(最初のコミット)が行われた。



次に、新しいブランチ(枝)が作成され、そのブランチで2回のコミットが行われた。



最後に、PR(プルリクエスト)により、新しいブランチと元のブランチ(main)がマージされて一つに なった。 Merged PR 7: update readme 9dab5f26 W Hiromichi Yamada Today at 1:01 update readme c1282c39 Niryamada Today at 0:48 新しい 元の update readme ブランチ ブランチ 38029b07 Niryamada Today at 0:48 Added README.md ef4ad95b W Hiromichi Yamada Today at 0:46

ファイル一覧

リポジトリのファイルを一覧表示

